

第十七篇

原文部分:

## 美しい村の原発禍

方言には、標準語には収まりきらない深みと幅を持つ言葉が多い。東北地方の「までい」もそんな一つだ。「真手」という古語が語源といい、転じて手間ひま惜しまず、丁寧に、心をこめて、といった意味合いで使われるそう。

「までいに飯を食わねえどバチあだつ」「子どものしつけはまでいにやれよ」などとお年寄りと言う。原発禍に揺れる福島県飯舘村役場に頂戴した『までいの力』という一冊で知った。言葉どおり、手塩にかけて築いてきた村の日常がオールカラー本に息づいている。

スローライフの考え方が広がり出したころ、村長はじめ村人は思ったそう。「それって『までい』ってことじゃないか」。以来「までい」を合言葉に、地に足をつけて村をつくり上げてきた。

ところが本の刊行直前に震災が起きた。「ここには2011年3月11日午後2時46分以前の美しい飯舘村の姿があります」。中

表紙に急ぎよ刷られた一文に怒りと悲しみがこもる。計画避難で全村民が村を離れなくてはならない。

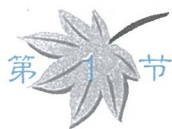
「までい」の教祖のような、19世紀米国のソローを思い出す。物質文明を問うた名著「森の生活」の末尾に、「われわれの目をくらます光は、われわれにとっては暗闇である」という象徴的なくだりがある。原発がともす繁栄の光は、私たちにとって何なのだろうか。

地に足をつけてきた人々が地を追われる無念を思う。とことん考えることでせめて悲痛に寄り添いたい。原発の受益者は都会人なのを忘れることなく。

2011年5月5日



学习部分：



美しい村の原発禍①

方言には、標準語には収まりきらない深みと幅を持つ言葉が多い②。東北地方の「までい」もそんな一つだ。「真手」という古語が語源といい、転じて手間ひま惜しまず、丁寧に、心をこめて、といった意味合いで使われるそうだ。

「までいに飯を食わねえどバチあだつと」「子どものしつけはまでいにやれよ」などとお年寄りは言う③。原発禍に揺れる福島県飯舘村役場に頂戴した『までいの力』という一冊で知った④。言葉どおり、手塩にかけて築いてきた村の日常がオールカラー一本に息づいている⑤。



译文

美丽村庄受到核电站事故之危害

有很多意义深远的方言词无法都收进标准(日)语中。东北地区的“madei”就是其中的一个。据说此词源于古语「真手」(mate), 转义为“不惜劳力和时间”、“细致地”、“精心地”等。

“你要是不好好吃饭, 会受惩罚的!” “好好管教孩子吧!” 那里的老人这么说。我是从受到核电站事故危



害の福島县饭馆村村公所得到的本题为《认真细致(MADEI)的力量》的册子中了解到此方言的说法。正如标题(直译:话语)所示,这本反映村民们日常生活的全彩册子(直译:书)印证了他们一丝不苟地建设自己村庄的精神。

- ① **注解**「原発禍」是指「福島第一原子力発電所事故」,即2011年3月11日发生的日本东北大地震和海啸引起福島第一核电站泄漏事故。
- ② **注解**这句指方言中有很多有趣的、意义深远的词语在标准日语里没有与其对应的词。
- ③ **注解**「までいに飯を食わねえどバチあだつと」为东北方言,相当于「ご飯をよく食べないとばちが当たるぞ」。
- ④ **注解**「知った」的主语是本专栏的作者,即“我”。
- ⑤ **注解**此句为意译。



#### 生词&例句

**【<sup>おさ</sup>収まる】** 收纳; 容纳。

<例句> ●ひと部屋にちょうど5人ずつ収まった。⇒ 每间房正好容纳了五个人。

●こんなにたくさんの本は本箱一つに収まらないと思う。⇒ 我觉得这么多书一个书箱装不下。

**【<sup>まて</sup>真手】** 两手; 左右手。

**【<sup>てま</sup>手間ひま】** **【<sup>てまひま</sup>手間暇】** 工夫; 时间和劳力。

<例句> ●手間ひまをかけてつくりあげたお菓子。⇒ 花了很

大工夫制作的点心。

- せっかく手間ひまかけて作ったのにむだになった。  
⇒ 特意下工夫做的，结果却白费劲了。

**【惜しまず】** 不惜；毫不吝惜。

- <例句>
- 惜しまず金を出す。⇒ 毫不吝惜地出钱（花钱）。
  - 骨身を惜しまず働く。⇒ 不惜一切地工作；拼命工作。

**【こめる】【込める】【籠める】**（1）装填。（2）（全神）贯注；集中（精力）。

- <例句>
- 銃に弾丸をこめる。⇒ 往枪膛里装子弹。
  - 心をこめて書く。⇒ 精心地写。
  - まごころをこめた贈り物。⇒ 精心准备的礼品。

**【意味あい】** 含义；意思。

- <例句>
- 彼女の言葉には特別の意味合いがあった。⇒ 她话里有话。
  - 彼らの話と彼女の話では意味合いが少し違う。⇒ 他们说的和她说的意思有点不同。

**【バチ】【ばち】【罰】** 报应；惩罚。

- <例句>
- ばちが当たる。⇒ 遭报应。
  - そんなことをするとばちが当たるぞ。⇒ 你那样做是要遭报应的。

**【役場】** 区（乡、村）公所；办事处；机关。

- <例句>
- 村役場。⇒ 村公所。
  - 町役場。⇒ 乡公所。

<sup>てしお</sup>【手塩】(1) 少量的盐。(2) 盛盐小碟。【注意】文中的「手塩に掛ける」为惯用语,意思是“亲自照顾、亲手精心培育”。

<例句> ●手塩にかけた子ども。⇒ 亲手拉扯大的孩子。

●その子を手塩にかけて育てた。⇒ 精心地把那孩子养大。

【オールカラー】 all color. 全彩色。

<sup>いき</sup>【息づく】(1) 呼吸; 喘气。(2) 生活; 活着。

<例句> ●ひっそりと息づく。⇒ 孤身度日。

●スマレが1輪、庭の片隅にひっそりと息づいていた。⇒ 在院子的角落里,静悄悄地开着一朵紫花地丁。

●この小説にはヒューマニズムが確かな形で息づいている。⇒ 这部小说确实充满了人文主义的气息。

## 第 2 节

スローライフの<sup>かんが</sup>考<sup>かた</sup>え<sup>ひろ</sup>方<sup>だ</sup>が<sup>だ</sup>広<sup>だ</sup>がり<sup>だ</sup>出<sup>だ</sup>した<sup>だ</sup>ころ、<sup>そんちょう</sup>村<sup>そんちょう</sup>長<sup>そんちょう</sup>は<sup>はじめ</sup>はじめ<sup>はじめ</sup>村<sup>むらびと</sup>人<sup>おも</sup>は<sup>おも</sup>思<sup>おも</sup>った<sup>おも</sup>そう<sup>おも</sup>だ。「それ<sup>それ</sup>って『<sup>までい</sup>までい』<sup>までい</sup>って<sup>こと</sup>こと<sup>じゃない</sup>じゃないか」。以<sup>いらい</sup>来<sup>いらい</sup>「<sup>までい</sup>までい」<sup>あいことば</sup>を<sup>あいことば</sup>台<sup>ち</sup>言<sup>あし</sup>葉<sup>むら</sup>に、<sup>むら</sup>地<sup>むら</sup>に<sup>むら</sup>足<sup>むら</sup>をつ<sup>むら</sup>けて<sup>むら</sup>村<sup>むら</sup>をつ<sup>むら</sup>くり<sup>あ</sup>あ<sup>あ</sup>げ<sup>あ</sup>て<sup>あ</sup>き<sup>あ</sup>た。

ところが本の<sup>ほん</sup>刊<sup>かん</sup>行<sup>こう</sup>直<sup>ちよく</sup>前<sup>ぜん</sup>に<sup>しんさい</sup>震<sup>しん</sup>災<sup>さい</sup>が<sup>お</sup>起<sup>お</sup>き<sup>お</sup>た<sup>お</sup>。 「ここ<sup>ここ</sup>には<sup>ここ</sup>2011<sup>2011</sup>年<sup>ねん</sup>3<sup>3</sup>月<sup>がつ</sup>11<sup>11</sup>日<sup>にち</sup>午<sup>ご</sup>後<sup>ご</sup>2<sup>2</sup>時<sup>じ</sup>46<sup>46</sup>分<sup>ぶん</sup>以<sup>い</sup>前<sup>ぜん</sup>の<sup>うつく</sup>美<sup>い</sup>し<sup>い</sup>い<sup>いた</sup>飯<sup>むら</sup>館<sup>むら</sup>村<sup>むら</sup>の<sup>すがた</sup>姿<sup>すがた</sup>が<sup>あり</sup>あ<sup>り</sup>ま<sup>す</sup>す」。中<sup>なか</sup>表<sup>びよう</sup>紙<sup>し</sup>に<sup>きゆう</sup>急<sup>す</sup>き<sup>す</sup>よ<sup>す</sup>刷<sup>す</sup>ら<sup>す</sup>れた<sup>す</sup>一<sup>いち</sup>文<sup>ぶん</sup>に<sup>いか</sup>怒<sup>い</sup>り<sup>かな</sup>と<sup>かな</sup>悲<sup>かな</sup>し<sup>かな</sup>み<sup>かな</sup>が<sup>こ</sup>こ<sup>も</sup>る。計<sup>けい</sup>画<sup>かく</sup>避<sup>ひ</sup>難<sup>なん</sup>で<sup>ぜん</sup>全<sup>ぜん</sup>村<sup>そん</sup>民<sup>みん</sup>が<sup>むら</sup>村<sup>むら</sup>を<sup>はな</sup>離<sup>はな</sup>れ<sup>はな</sup>なく<sup>はな</sup>て<sup>はな</sup>ら<sup>な</sup>い。



### 译文

据说，慢节奏的生活方式（直译：想法）刚流行时，从村长到村民都认为：“这不就是‘madei（认真细致）’吗？”从此，这个词就成了他们的口号，他们（在这个口号下）脚踏实地建设起自己的村庄。

然而，就在这本册子即将发行之际，发生了震灾。“这里展现的是2011年3月11日下午2时46分之前饭馆村的美丽景象”，临时（直译：急忙）加印在册子扉页上的这句话充满了愤懑与悲伤。根据（政府部署的）避难计划，全村村民不得不撤离村子。

⑥ **注解**「震災」是指2011年3月11日14时46分（日本当地时间）发生的「東北地方太平洋沖地震」，也称为「東日本大震災」，这是日本观测史上记录到的规模最大的一次超强地震。



### 生词&例句

【スローライフ】slow life. 慢节奏的生活。

【合言葉】<sup>あいことば</sup>【合い言葉】<sup>あいことば</sup>（1）暗语；暗号。（2）口号；标语。

<例句> ●合言葉で答える。⇒用暗语回答。

●民主主義が戦後日本の合言葉になっている。⇒民主主义成了日本二战后的口号。

【<sup>ち</sup>地に<sup>あし</sup>足をつける】（惯用语）脚踏实地；确确实实地；一步一步地。



<例句> ●地に足をつけた行動をしなさい。⇒ 脚踏实地干!

以下例句供参考(多用于否定句):

- 足が地につかない。⇒(心情、态度等)不踏实。
- 息子はやることなすこと地に足がついていない。  
⇒ 我儿子做什么事都不扎实。

【<sup>あ</sup>つくり上げる】【<sup>つく</sup>作り上げる】造成; 做完。

<例句> ●コンピュータのプログラムをつくり上げる。⇒ 制作计算机程序。

- 2年かかって作り上げた計画書。⇒ 花了两年工夫制定出来的计划。

【<sup>ひょうし</sup>表紙】封面。【**注意**】文中的「中表紙」指扉页。

<例句> ●ノートの表紙に名前を書く。⇒ 把名字写在笔记本的封面上。

- 裏表紙。⇒ 封底; 封四。

【<sup>きゅう</sup>急ぎよ】【<sup>きゅうきよ</sup>急遽】匆忙; 急忙。

<例句> ●急ぎよ上京する。⇒ 匆忙去东京。

- 急ぎよ現場に駆けつける。⇒ 急忙跑到现场。

【<sup>こも</sup>こもる】【籠る】(1) 闭门不出。(2) 充满。

<例句> ●敵は要塞にこもっている。⇒ 敌人固守在要塞里。

- 愛情のこもった手紙。⇒ 充满了爱意的信。



### 第 3 节

「までい」の教祖きょうそのような、19世紀せい米国のソローアメリカを思い出す⑦。物質文明ぶつしつぶんめいを問うた名著と「森の生活もり」の末尾せいかつに、「われわれの目めをくらます光ひかりは、われわれにとっては暗闇くらやみである」という象徴しょうちゆうてき的なくだりひかりがある⑧。原発げんぱつがともす繁栄はんえいの光ひかりは、私わたしたちにとって何なんなのだろうか⑨。

地に足あしをつけてきた人々ひとびとが地ちを追われる無念むねんを思う⑩。とことんかんが考えることひつうでせめて悲痛よに寄り添そいたい⑪。原発げんぱつの受益者えきしやは都会人とかいじんなのを忘わすれることなく。



#### 译文

我想起了19世纪的美国人梭罗，他就像是“madei（认真细致）”理念的鼻祖。在他那本叩问什么是物质文明的名著《森林中的生活》的结尾处，有一段具有象征意义的话：“遮蔽我们眼睛的光芒，对我们而言就是黑暗。”核能发电点亮的繁荣之光对我们而言又意味着什么呢？

我为脚踏实地建设自己村庄的人们被迫离开家园感到遗憾。我要常（直译：彻底地）想着他们，与他们同悲痛。我们不能忘记：核能发电的受益者是城市人。

⑦ **注解** Henry David Thoreau (亨利·戴维·梭罗。1817-1862)。美国作家、诗人、哲学家。他最著名的作品是散文集《瓦尔登湖》(Walden)，即本文提到的「森の



生活」(森林中的生活),此书记载了他在瓦尔登湖的  
隐逸生活。

⑧ **注解**「問うた」是「問う」的过去式,为不规则用法。另请  
参阅第15篇注解⑩。

⑨ **注解**「原発」是「原子力発電」或「原子力発電所」之略。

⑩ **注解**「人々」指饭馆村的村民。这句的「地に足をつけてき  
た人々」和「地を追われる」都带上了「地」,似在玩  
文字游戏,但实际上有重复强调作用,让人留下深刻  
印象。

⑪ **注解**「とことん考えることで」中的助词「で」表示手段、  
方法等,即通过“常想着村民们,与他们同悲痛”。



### 生词&例句

**【末尾】** まっぴ 末尾; 结尾。

<例句> ● 末尾3桁の数。⇒ 末尾三位の数。

● 第1巻の末尾。⇒ 第一巻的结尾。

**【くらます】** (1) 隐藏; 隐蔽。(2) 蒙蔽; 隐瞒。

<例句> ● 犯人は人ごみに姿をくらました。⇒ 犯人混进人群  
里躲了起来。

● 人の目をくらます。⇒ 瞒人眼目; 偷偷地……。

**【くだり】** (文章的) 一段; 一节; 一部分。 **注意** 「下り」也  
读「くだり」,但意思是“下坡、下行(往下走)”等。

<例句> ● このくだりがわからない。⇒ 这一节我不懂。

● あのくだりが物語のクライマックスだ。⇒ 那一段

是故事的高潮。

【ともす】【点す】【灯す】点（灯）。

<例句> ●ろうそくをともす。⇒点蜡烛。

●ランプがともしてある。⇒煤油灯亮着。

【無念<sup>むねん</sup>】遗憾；悔恨；懊悔。

<例句> ●無念の涙をのむ。⇒忍住悔恨的眼泪。

●無念にも決勝戦で負けた。⇒很遗憾决赛输了。

【とことん】彻底；到底。

<例句> ●誤解を解くためにとことん話し合おう。⇒为了消除误解，我们彻底地谈一谈吧。

●こうなったからにはとことんまでやるほかない。  
⇒既然都这样了，那只好干到底。

【せめて】哪怕是……（也好）；至少。

<例句> ●せめてありがとうのひと言くらい言ってほしかった。⇒哪怕是只说句谢谢也好。

●せめてお別れの電話くらいかけてくれればいいのに。⇒至少应该打个电话来告别一下呀。

【寄り添<sup>よそ</sup>う】靠近；挨近。

<例句> ●友だちと寄り添って歩く。⇒和朋友并肩行走。

●親子二人互いに寄り添って生きてきた。⇒父子（母子）俩相依为命过到了今天。

## 日语难读词之角

- 悪寒 (おかん) : (因高烧) 发冷。

風邪を引いたのか悪寒がする。⇒ 也许是感冒了，身上发冷。

- 後世 (こうせい) : (1) 后世。(2) 后半辈子; 后半生。

名を後世に伝える。⇒ 传名于后世。

- 戯言 (たわごと) : 胡话; 蠢话。

そんな戯言を聞いている暇はない。⇒ 没那闲工夫听你胡诌。

